# 取扱説明書 更新情報

| 更新時期 | 更新ページ | 更新箇所 |
| --- | --- | --- |
| 2014 年 1 月 | 2 ページ | 動作確認済 OS |
| 2014 年 1 月 | 26 ページ | 使用上の注意 |
| 2014 年 3 月 | 16 ページ | HDMI ジャック種類案内 |

# 取扱説明書

品番 74177001

本品はアウトドアレジャーにおける動画及び静止画を撮影するための家庭用小型カメラです。反社会的行為や犯罪行為を目的としては絶対に使用しないで下さい

YADEN

LOGOSACTION EZ CAM・TOUCH PANEL

## LOGOSアクションEZカム・タッチパネル

M-K

# 目次


はじめに
- 目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 仕様詳細・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 最新仕様情報のご案内・・・・・・・・・P3

基本
- 各部位の名称・・・・・・・・・・・・・P4
- 電源の ON・OFF・・・・・・・・・・
- ディスプレイ基礎説明・・・・・・・・P5
- メディア（メモリーカード）のセット・
- カメラの充電方法・・・・・・・・・・P6

操作
- 動画の撮影方法・・・・・・・・・・・P7
- 静止画の撮影方法・・・・・・・・・・P8
- ドライブレコーダーの撮影・・・・・・P9
- 車やコンセントに接続しての使用・・・P10
- 動画のプレビュー　　・・・・・・・P11

操作
- ドライブレコーダーのプレビュー・・・P12
- 静止画のプレビュー・・・・・・・・・P13
- リモコンの使い方・・・・・・・・・・P14
- パソコンで再生及び画像確認・・・・・P15
- テレビで再生及び画像確認・・・・・・P16
- データの削除について・・・・・・・・P17

アタッチメント
- 防水ハウジングの使い方・・・・・・・P18
- バイクマウントの使い方・・・・・・・P19
- 連結ユニットの説明・・・・・・・・・P20
- ヘルメットマウントの使い方・・・・・P21 ～ 22
- サーフボードマウントの使い方・・・・P23

注意
- 故障かな？と思ったら・使用上の注意・P24
- 使用上の注意・・・・・・・・・・・・・P25 ～ 26

| | |
|---|---|
| サイズ | 7.4×3.3×5.2cm |
| 本体重量 | 72g |
| 充電方式（プラグ形状） | USB充電（Mini-B） |
| 静止画（画素数） | 1200万画素（4000×3000）/1000万画素（3648×2736）<br>800万画素（3264×2448）/500万画素（2592×1944） |
| 画像保存形式 | JPEG |
| 動画（ピクセル） | FHD：1920×1080（30fps）/ HD：1280×720（60fps）<br>HD：1280×720（30fps）/ VGA：640×480（120fps） |
| 動画保存形式 | MOV |
| 手ぶれ補正 | デジタル手ぶれ補正 |
| ホワイトバランス | オート |
| ズーム | 4倍デジタルズーム |
| セルフタイマー（静止画） | ○ |
| 連写 | 3枚連写 |
| 顔認識機能 | ○ |
| ドライブレコーダー | ○ |
| 液晶モニター | 2.4インチ |
| リモコン | ○ |
| 防水性能（ハウジング使用時） | 3m（IPX8） |
| 対応メディア | MicroSDHC（32GBまで）/Class4～10対応（10推奨） |
| 目安充電時間 | 約4時間 |
| 目安使用時間 | 約60分～90分（モードにより異なる） |
| 使用可能気温 | 約ー10～40℃ |
| ジョイントの種類 | スクリューAタイプ |

## 対応するパソコンのスペック

| | |
|---|---|
| 動作確認済OS | Windows2000、XP、VISTA<br>Windows7、Mac OS X10.0以上 |
| CPU | Intel Pentium III 800MHz以上<br>or 同等性能CPU |
| 内蔵メモリ | 512MB以上 |
| ハードディスク | 1GB以上のフリースペース |
| 音声・映像 | DirectX8以上 |
| CDドライバー | 4倍速以上 |
| その他 | USB1.1 or USB2.0ポート |

## 付属アクセサリー

- ●防水・防塵ハウジング（3m）
- ●バイクマウント
- ●ヘルメットマウント
- ●ヘルメットベルト
- ●サーフ（スノー）ボードマウントセット
  （3Mスティッカー含む）
- ●リモコン
- ●USBケーブル
- ●3Mスティッカー（予備）2枚

# 本品をお求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用に際して、初めに本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

尚、仕様は予告なく更新される場合があります。本書の情報は 2013 年時点のものです。

最新説明書と更新箇所のご案内は下記 QR コード及び URL からご覧いただけます。

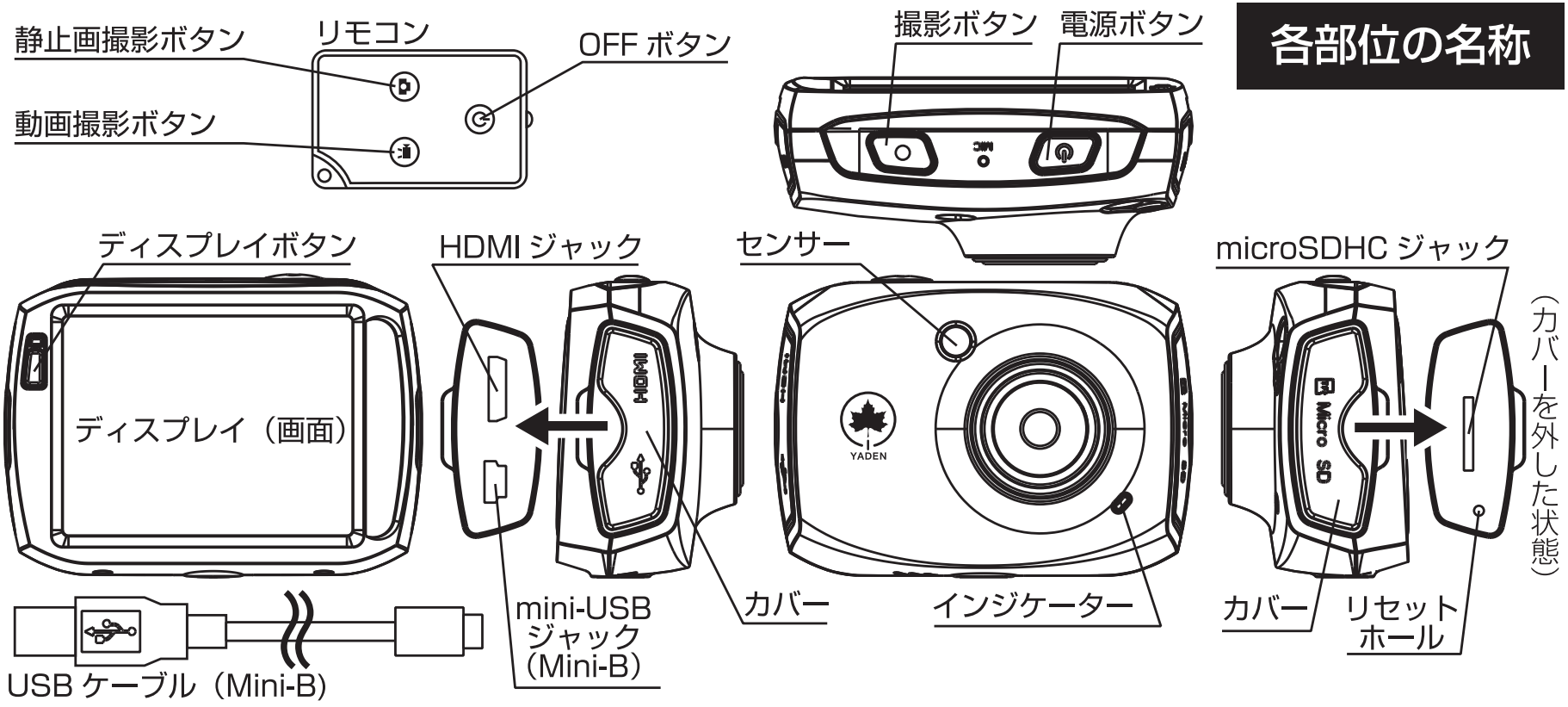
また、使用されている画像やイラストは実物と異なる場合があります。ご了承ください。

## 最新説明書はこちら

スマホやタブレットは
この QR コードを
読み取ってください
下記 URL からも確認
できます

http://www.logos.ne.jp/new_webcatalog/pdf/2001.pdf

## 各部位の名称




## 電源の ON・OFF

**注意！**電源 ON の直後に自動的に OFF になる場合は、先に充電してください。

電源ボタンを約２秒押し続けると → ON
※インジケーターが青く点灯する

**注意！**約１分間何もしなければ画面がスリープ状態（画面が消える）になります。
※復帰はディスプレイボタンを押してください。

電源ボタンを約２秒押し続けると → OFF

**注意！**撮影モードでは約５分間何もしなければ電源が自動的に OFF になります。

# ディスプレイ基礎説明

電源 ON にするとディスプレイが表示されます。

- ディスプレイ上のアイコン（絵マーク）を指で押して操作します。
- 爪で押すと反応しやすくなります。

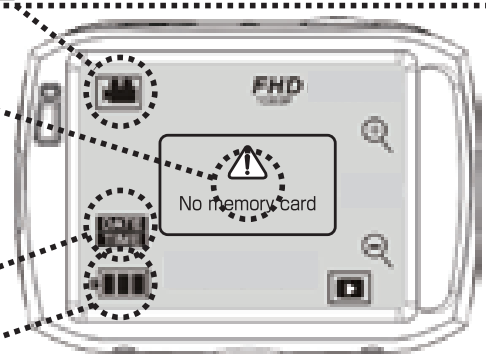
**注意！**強く押すとディスプレイの液晶が破損します。
**注意！**低温度環境下では画面写りに影響がでます。

**モード：**動画 →ドライブレコーダー →静止画 P の順で切り替わります。

**メッセージ**
メディアが入っていません

**日時設定ができます**
押すと、設定画面になり、上下左右の▲で日時を設定します

**電池残量の確認**

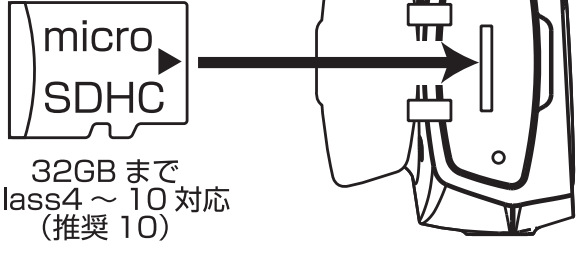



# メディア（メモリーカード）をセットする

カメラの電源 OFF ▶

**注意！**メディアは付属していません。必ず市販のメディアを購入してご使用ください。

メディアの向きに注意！
（ジャックカバーに向きが刻印されています）




32GB まで
Class4 ～ 10 対応
（推奨 10）

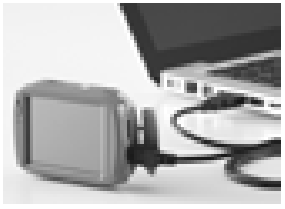
※奥までしっかりと差し込むこと。
※抜く時は再度奥まで押しこむとバネの力で出てきます。

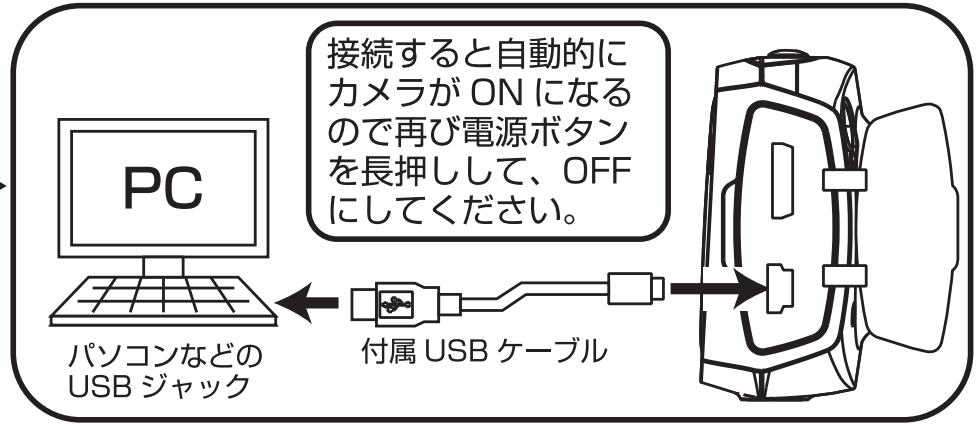
**注意！**使えるメディアは microSDHC の 32GB までです。64GB は使えません。
**注意！** Class は 4 ～ 10 に対応しますが、Class10 を推奨します。4、6 は転送速度が遅いため、スムーズな再生を阻害したり、カメラのフリーズに繋がる場合があります。
**注意！**メディアの抜き差しはカメラの電源を OFF にしてから行ってください。メディアとカメラの破損に繋がります。
**注意！**メディアの向きに注意してください。向きを間違えると破損に繋がります。
**注意！**メディアの使い回しは禁止です。必ず新品を使用してください。誤作動やフリーズの原因となります。

# まず初めに ･･･ カメラに充電 → そして撮影

## 充電方法

カメラの電源 OFF





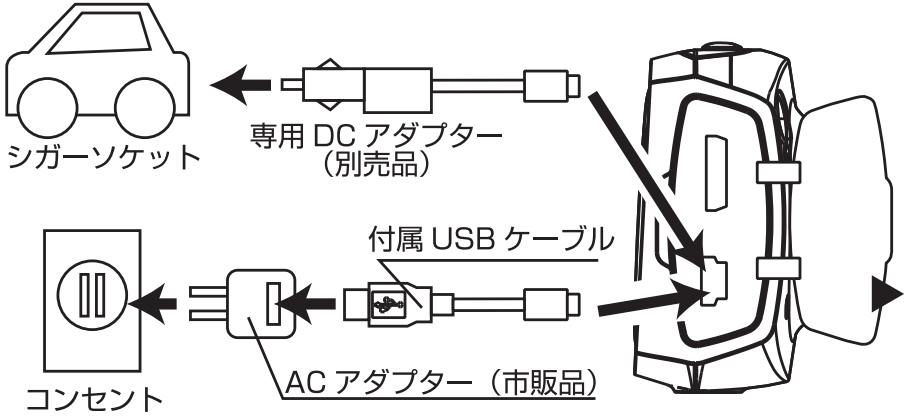

**充電開始**
インジケーターの色がピンクから赤に変わると充電開始です。

充電目安時間：約４時間
インジケーターが消灯すれば充電完了

**注意！**充電中は撮影不可

---

## 市販や別売のアダプターがあれば　コンセントや車からも充電 OK!




接続すると自動的にカメラが ON になるので再び電源ボタンを長押しして、OFF にしてください。

**充電開始**
インジケーターの色がピンクから赤に変わると充電開始です。

充電目安時間
約４時間。
インジケーターが消灯すれば充電完了

### 別売専用 DC アダプター

No.74177061
アクション EZ・DC アダプター

**注意！**販売終了の場合があります。

# 動画の撮影

**注意！**長時間撮影の場合、約 30 分毎に保存ファイルがシームレスに切り替わって継続録画されます。

電源 ON

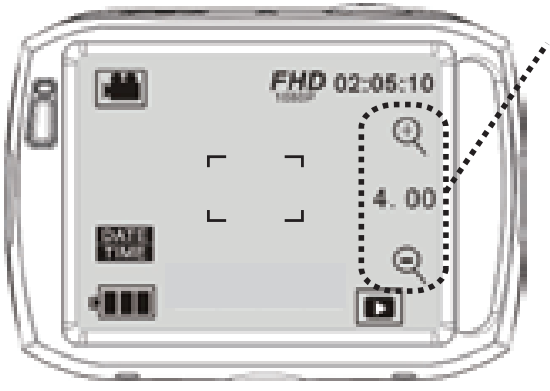
①指で押して
動画モードにする

メディアのメモリー残量
録画可能時間　※目安です

②指で押して画質を選ぶ

FHD(30fps):1920×1080: 高画質（広画角）
H D(60fps):1280×720: 中画質（動き）
H D(30fps):1280×720: 中画質
VGA(120fps):640×480: 低画質（動き）

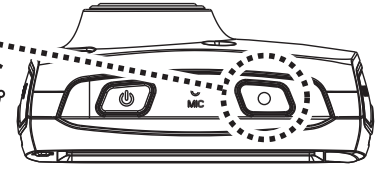
※（広画角）：広い画角で撮影できます
※（動き）：コマ数が多く早い動きに適しています



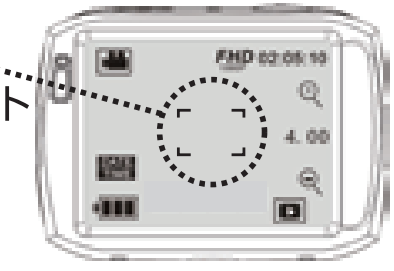

③＋を押してズーム IN
－を押してズーム OUT
（最大 4 倍ズーム）

**注意！**ズーム IN するほどブレやすくなります。

④撮影ボタンを
押して撮影スタート
再び押すとストップ



画面中央の ⌜ ⌝ を
押しても撮影スタート
再び押すとストップ




**注意！**録画可能時間に関係なく電池残量が無くなると録画は終了します。
**注意！**メディアの残量が無くなると撮影は行えません。

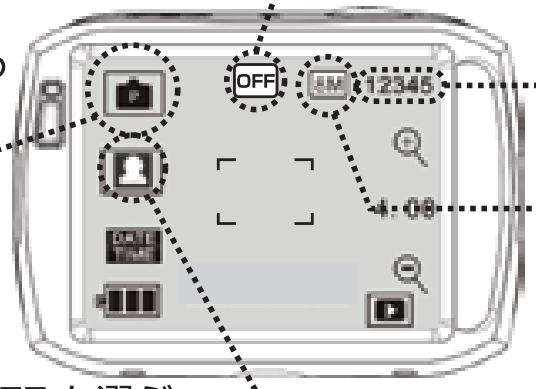
撮影中インジケーターは青く点滅します

# 静止画の撮影

電源 ON ▶

①指で押して
静止画モードにする

②指で押して
顔認識機能 ON・OFF を選ぶ

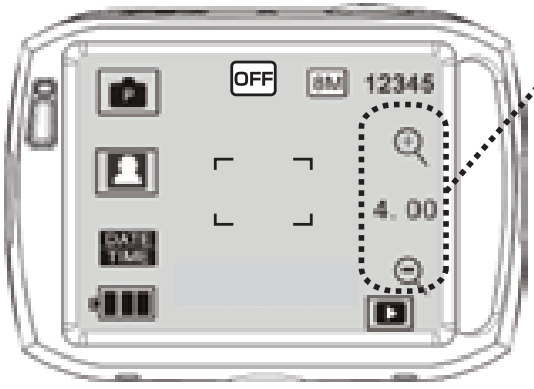



③指で押して設定を選ぶ
OFF 通常設定　10 秒タイマー　3 連写

メディアのメモリー残量
撮影可能枚数　※目安です

④指で押して画質を選ぶ

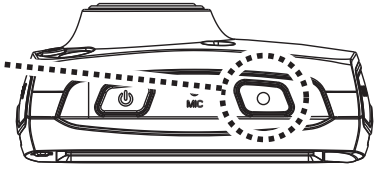
| | | |
|---|---|---|
| 12M : 4000×3000 | 大 | 画像の大きさ |
| 10M : 3648×2736 | | |
| 8M : 3264×2448 | | |
| 5M : 2592×1944 | 小 | |



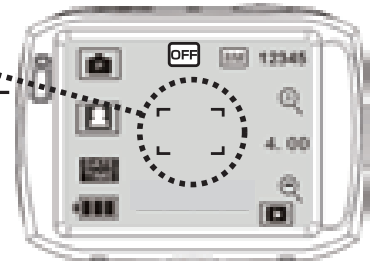

⑤＋を押してズーム IN
－を押してズーム OUT
（最大 4 倍ズーム）

**注意！**ズーム IN するほど
ブレやすくなります。

⑥撮影ボタンを
押して撮影する



画面中央の ⌜ ⌝ を
押しても撮影できます




撮影毎に
インジケーター
が青く光ります（光り方は不規則です）

**注意！**撮影可能枚数に関係なく電池残量が無くなると撮影は行えません。
**注意！**メディアの残量が無くなると撮影は行えません。

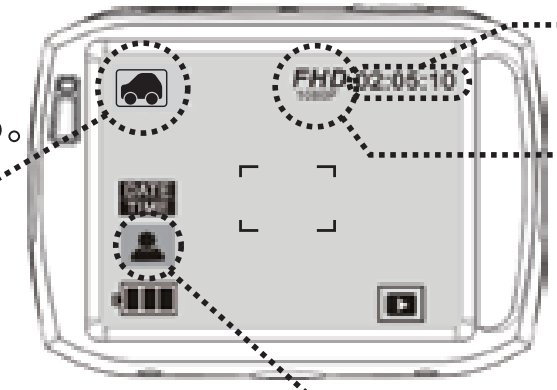
# ドライブレコーダーの撮影

運転走行状況を録画することで、事故などの瞬間を録画する事ができます。

**注意！**約３分毎に保存ファイルがシームレスに切り替わります。メディアの保存容量が無くなると古いデータに上書きして継続録画されます。但し、一旦停止させるとメディア内の保存容量を空けなければ再録画できないので、古いデータを約２～５個削除してから再撮影してください。

電源 ON

①押してドライブレコーダーモード(DR モード）にする。



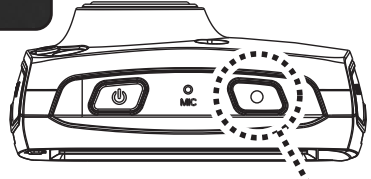

メディアのメモリー残量
録画可能時間　※目安です

③指で押して画質を選ぶ。

FHD(30fps):1920×1080: 高画質
H D(60fps):1280×720: 中画質（動き）
H D(30fps):1280×720: 中画質
VGA(120fps):640×480: 低画質（動き）

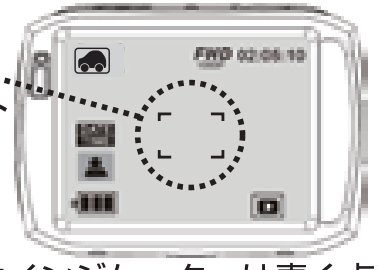
※（動き）：コマ数が多く早い動きに適している

②押して画面の向きを決める。
逆さに取付ける事が可能です。



④撮影ボタンを
押して撮影スタート
再び押すとストップ

画面中央の［　］を
押しても撮影スタート
再び押すとストップ



撮影中インジケーターは青く点滅します

⑤映像には
日付けと時間
が入ります。

**注意！**録画可能時間に関係なく電池残量が無くなると録画は終了します。

電池残量に関係なく継続録画する方法は P10 をご覧ください

## 車やコンセントに接続して使用する事もできます

**注意！**コンセントや車に接続している場合は、特殊な状況を除き、無操作時でも自動電源 OFF にはなりません。

市販や別売のアダプターがあれば
コンセントや車に接続しながら使用する事ができます

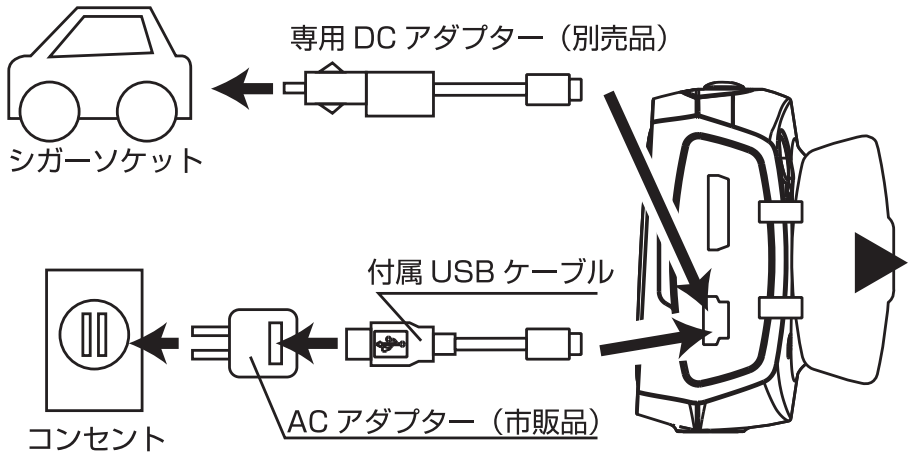
# 電池残量を気にせず継続撮影できます

車に接続する際は、シガーソケットに専用アダプター（別売）を差し込んでください。

**別売専用 DC アダプター**

No.74177061
アクション EZ・DC アダプター

**注意！**販売終了の場合があります。




接続すると自動的にカメラが ON になります。

**車の場合は**

エンジン作動 → 自動 ON
エンジン停止 → 自動 OFF

インジケーターの色
動作時：ピンク点灯
撮影時：ピンク点滅

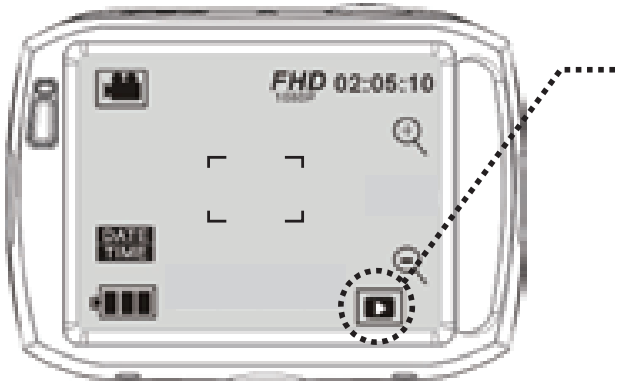
ポイント！
前回 DR モードの状態で電源 OFF した場合、次回電源 ON にすると自動的に DR モード録画がスタートします。

※DR モード：

ドライブレコーダーモード

**注意！**約 3 分毎に保存ファイルがシームレスに切り替わります。メディアの保存容量が無くなると古いデータに上書きして継続録画されます。但し一旦停止させると、次回はメディア内の保存容量を空けなければ再録画できないので、古いデータを約２～５個削除してから再撮影してください。（電圧不足や特殊状況はこの限りではない）

# 撮影した映像・画像を見る（プレビュー）




プレビューマーク
プレビューマークを押して
プレビューモードを選ぶ

動画のプレビュー

静止画のプレビュー

DR のプレビュー

## 動画のプレビュー

①動画のプレビューマークを押す

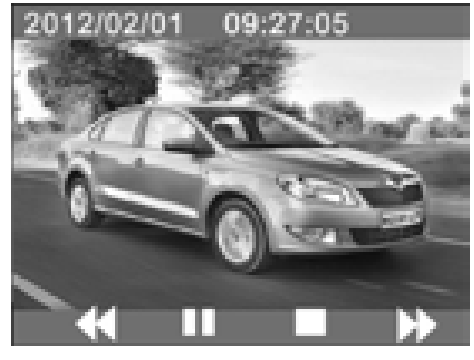
選択動画の位置 / 総動画数

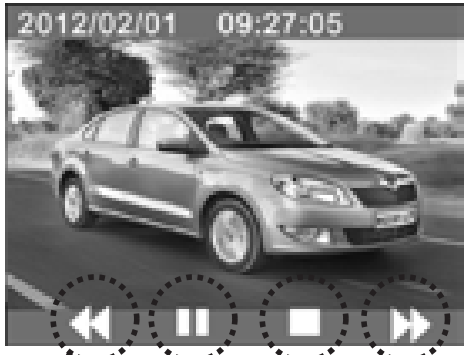
撮影画面に
戻る

録画時間
撮影日時

②▲▼を押すとデータファイルのページが切り替わります。

③選択した動画データを押すと再生が始まります。






④画面下の各マークを押して再生してください

●巻戻し・早送りは２段階の早さが選べます。

●一時停止後に表示される▶を押すと再度再生が始まります。

**注意！**巻戻し・早送りの速度はそれぞれ２段階ですが、使用するメディアの転送速度（Class）により速度は異なります。
**注意！**使用するメディアの転送速度（Class）により正常に再生されない場合があります。

⑤動画データを削除する場合は、対象動画を選んだ状態でゴミ箱マークを押してください。

⑥メッセージが出たら次のどちらかを押す。

YES 押す → 選択が YES になる → YES 押す → 削除実行
No 押す → 選択が No になる → No 押す → 選択画面に戻る

左右の◀ ▶マークを押すと次もしくは前の動画に移動できます。

## DR（ドライブレコーダー）のプレビュー

①DR のプレビューマークを押す

②以降の操作は **動画のプレビュー** と同じです

**注意！**データファイルは、約３分毎に保存ファイルを変更して保存されています。

## 静止画のプレビュー

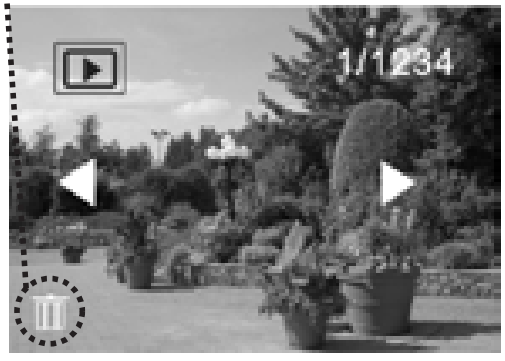
①静止画のプレビューマークを押す

選択画像の位置 / 総画像数

撮影画面に戻る

②左右の◁ ▷マークを押すと次もしくは前の画像に移動できます。

③ゴミ箱マークを押すと削除画面に移動します




④メッセージが出たら次のどちらかを押す。

YES 押す → 選択が YES になる → YES 押す → 削除実行

No 押す → 選択が No になる → No 押す → 選択画面に戻る

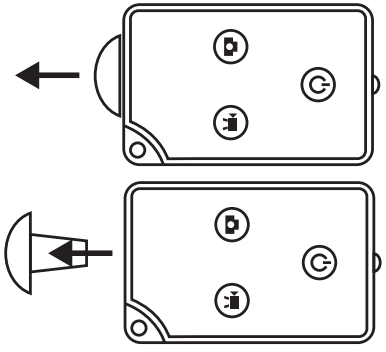
左右の◀ ▶マークを押すと次もしくは前の動画に移動できます。

**注意！**一度削除されたデータは復元できません。削除の際は必ず注意深く確認の上、実行してください。
**注意！**再生時に本機から音声は出ません。

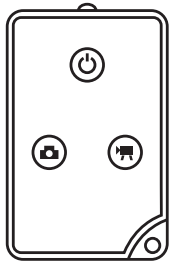
# リモコンの使い方

**注意！**付属の電池はデモ用サンプル電池です。放電している可能性がありますので、実際のご使用では必ず新品電池をお求めの上ご使用ください。

①裏面の電池ボックスの隙間にフィルムが挟まっている場合は、フィルムを引き抜いてください。



②以下の操作が可能です。



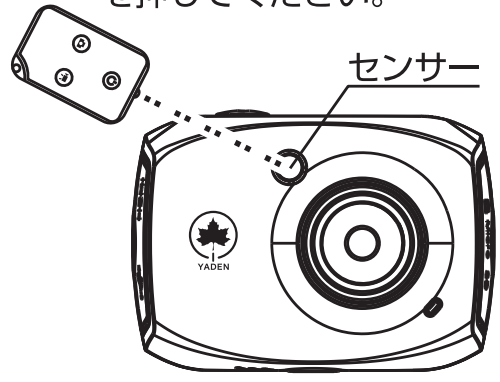
電源の OFF ができます。

**注意！** ON はできません

動画モードに切り替わると同時に動画撮影を開始します。

静止画モードに切り替わると同時に静止画撮影をします。

②リモコンの先をカメラのセンサーに向けてボタンを押してください。




使用する電池：「CR2025」１個

リモコンの電波が届く目安距離

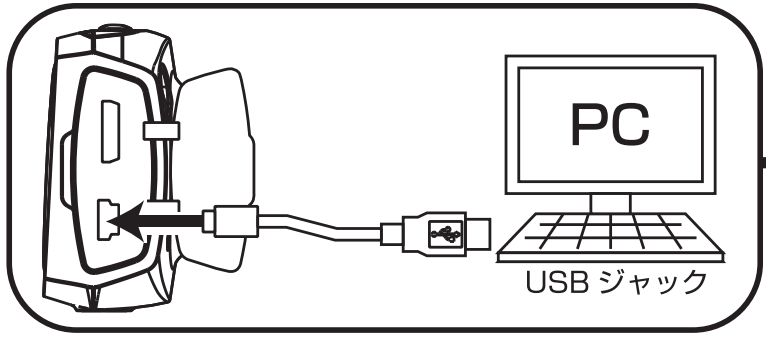
| 防水ハウジング**無し**の場合 | 防水ハウジング**有り**の場合 |
|---|---|
| 正面→約 5m | 正面→約 2m |
| 斜め→約 1m | 斜め→約 1m |
| 側面→約 1m | 側面→約 1m |
| 背面→約 1m | 背面→約 1m |

**注意！**電池残量が少なくなると、リモコンが機能しない場合があります。
**注意！**リモコンとカメラの間に障害物があると、電波が届かない場合があります。

# パソコンで再生（確認）

## 再生方法① PC（パソコン）とつないで再生

カメラの電源 OFF



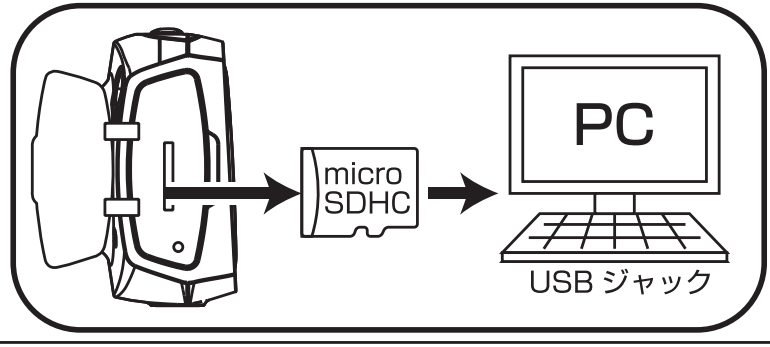

カメラ電源が自動的に ON

PC が自動的にメディアを開く場合は、フォルダを開きその中の DCIM フォルダを開き、データを選んで再生する。自動的に開かない場合は、PC 内の「マイコンピューター」などからメディア（リムーバブルディスク）を探して再生してください。

PC がメディアを読み込まない場合は・・・・・
別の USB ジャックにケーブルを差し込む。
それでもダメな場合は再生方法②を実行する。

## 再生方法② メディアを取り出して再生

カメラの電源 OFF




microSDHC 対応のジャックを備えていない PC は、市販のアダプターを使用してメディアを読み込んでください。

**注意！** PC の機種や OS によっては上記操作と異なる場合があります。詳しくはパソコンの説明書もご覧ください。
**注意！** 再生には予め動画再生ソフトが PC（パソコン）内にインストールされている必要があります

# テレビで再生（確認）

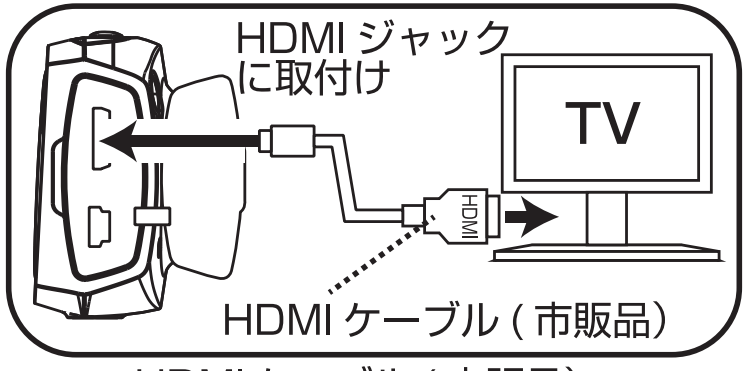
## テレビ再生　HDMI ケーブル（市販品）につないで再生する

市販の HDMI ケーブルを使えば、テレビで再生ができます。

①予めカメラを見たい
プレビュー画面にする

②その状態で電源を OFF
にする

③市販 HDMI ケーブルで
カメラとテレビをつなぐ




HDMI ケーブル ( 市販品)
[ カメラ側：ジャックの種類は
HDMI-mini（タイプ C）]

④テレビを HDMI モードにし
カメラの電源を ON にする

⑤テレビ画面に映れば準備 OK

注意！このマークは押せません

⑥動画と静止画の切り替えは、
カメラ電源を再び OFF にし
て、HDMI ケーブルを外し、
再度①から行ってください。

**注意！** HDMI ジャックを備えているテレビに限ります。
**注意！**本品には HDMI ケーブルは付属していません。市販の HDMI ケーブルをお求めください。
**注意！**画像の上下左右の端が切れている場合は、テレビの画面モード設定を変更してください。
**注意！**テレビ機種によって映像が乱れたり全画面表示されないことや映らないことがあります。特に他と規格が異なる VGA で保存された動画は、スローモーションになったり再生できないことがあります。ご了承ください。

## ●動画が再生できない場合・・・

**注意！**動画の保存データ形式は MOV です。再生ソフトやスマホ、タブレットの種類によって再生できない場合があります。その場合は一般的な「ファイル形式変換ソフト」を使用してファイル形式を対応可能形式に変換して再生してください。スマホやタブレット等は一般的な MOV 再生アプリを使用する事も方法の１つです。尚 PC の機種や再生ソフト、OS、またテレビの機種によっては、再生できない場合もございます。特に他と規格が異なる VGA で保存された動画は、スローモーションになったり再生できないことがあります。ご了承ください。

## ●動画がスムーズに再生されない　●音と映像がずれる　　場合・・・

○PC（パソコン）の処理速度が遅い可能性があります。PC の処理速度が遅いとスムーズな再生を妨げたり音声と映像のズレにつながりますので、処理速度の速い PC をご使用ください。

○PC のハードディスクにコピーしたデータを再生してください。

○microSDHC カードの CLASS が４～６の場合は、Class10 にすることで解消する事があります。

**注意！**特殊な環境で使用される特性上、風切り音などを和らげるために製品の音声は小さく設定しています。そのため会話などの録音は困難とお考えください。

# データの削除について

メディア内の動画・静止画データを削除する場合は・・・

削除方法①　PC（パソコン）の画面上で、メディア内の DCIM フォルダを開き削除する。フォルダごと削除すれば一括削除ができます。

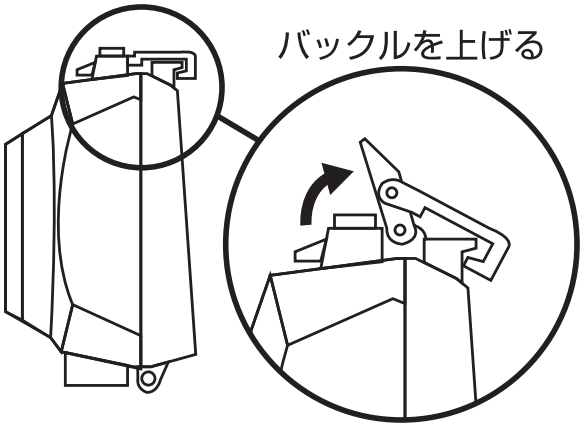
削除方法②　カメラの削除画面からデータを削除する。（12 ページ）※一括削除はできません

注意！一度削除されたデータは復元できません。削除の際は注意深く確認の上、実行してください。

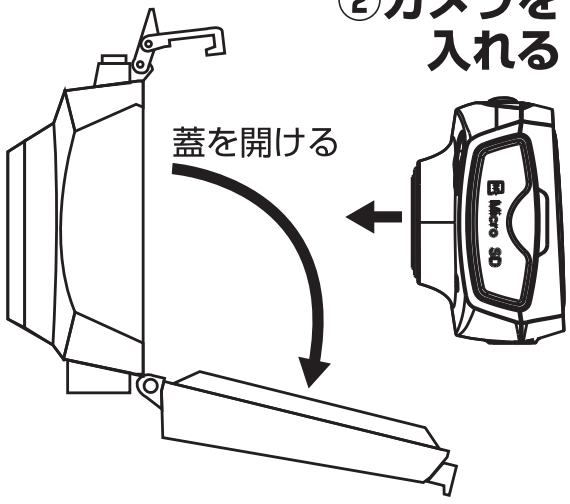
# 付属アタッチメントの説明

## 防水ハウジングの使い方 水の中や側で使う

**①蓋を開ける**

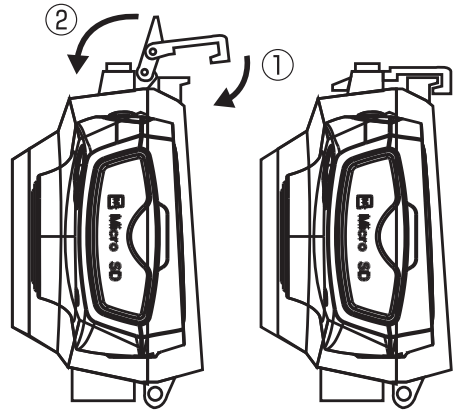



**②カメラを入れる**




**③蓋を閉める**

バックルを閉めて固定します。




**④撮影する** 画面操作はできないので予め画質などを選んでからハウジングにセットしてください。

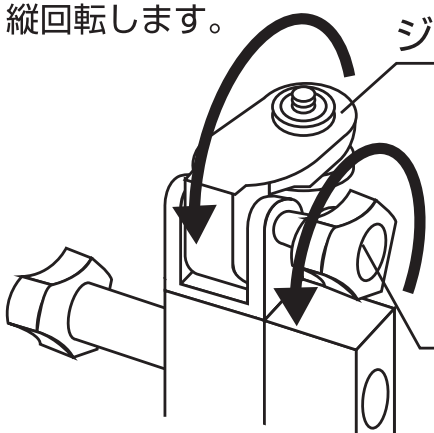
**注意！**防水性能は IPX8 の 3m 防水となっておりますが、防水を保証するものではありません。パッキンや可動部の劣化や 1 粒の砂や毛髪 1 本でもパッキンに付着すると、水漏れの原因になります。
**注意！**海水が付着した場合は、ヒンジ等の金属部位の腐食やカメラの故障に繋がりますので、使用後速やかに真水で綺麗に洗浄し、水分をよく振り落としてから乾かし、完全に乾いた状態で保管してください。
**注意！**防水性能は防水ハウジングにセットしたときのみ有効です。ハウジング無しでは絶対に雨や水などがかからないようにご使用ください。
**注意！**その高い密閉性により、低温時や水中ではハウジング内との温度差で曇りやすくなります。市販の曇り止め剤の使用や電源をこまめに切ることをお勧めします。

# バイクマウントの使い方

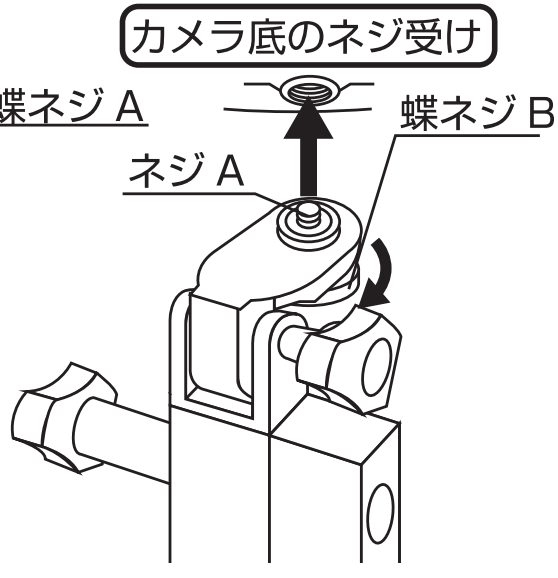
自転車・バイクに取付ける

## バイクマウントの構造

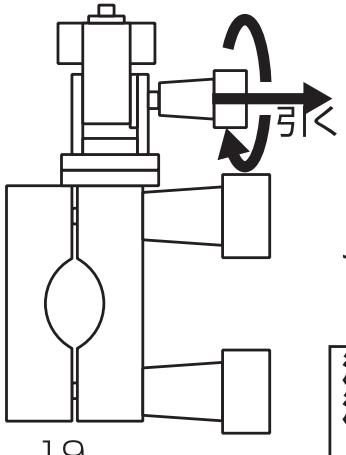
蝶ネジ A を緩めるとジョイント部が
縦回転します。




ネジ A をカメラ底のネジ受け
に**押し当てながら**蝶ネジ B を
回転させて固定します。

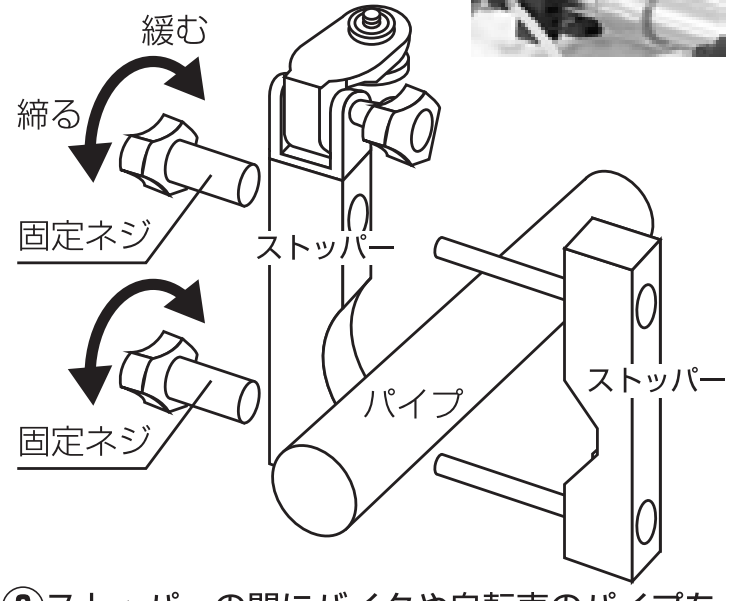



空回りする場合は
つまみを引きながら回転




## バイク（自転車）に固定する方法

①固定ネジを反時計回りに
回転させて外します。




②ストッパーの間にバイクや自転車のパイプを
挟み、再度固定ネジで締め付けて固定します。

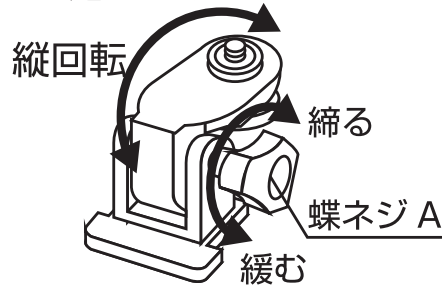
**注意！**締め込み過ぎによる破損に注意

**注意！**蝶ネジ A が空回りする際は、左図のようにつまみを引きながら回して下さい。
**注意！**ナットが外れた場合、紛失にご注意ください。　**注意！**取付けできないバイクもございます。
**注意！**必ず全てのネジが確実に締まって固定されている事を確認してからご使用ください。

## 連結ユニットの説明

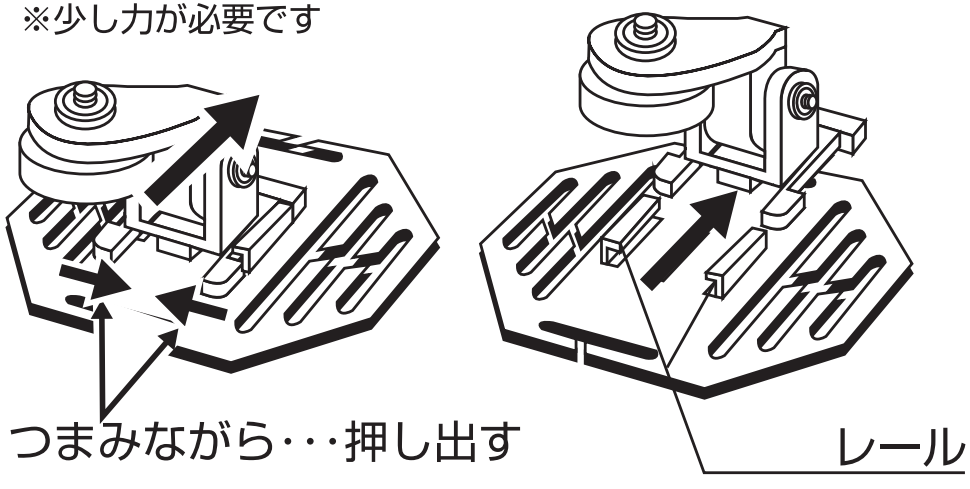
連結ユニットは、「ヘルメットマウント」もしくは「サーフボードマウント」のいずれかに取り付けて（スライド装着）使用します。

回転ネジを緩めるとジョイント部が縦回転します。回転後は確実に締めて固定してください。



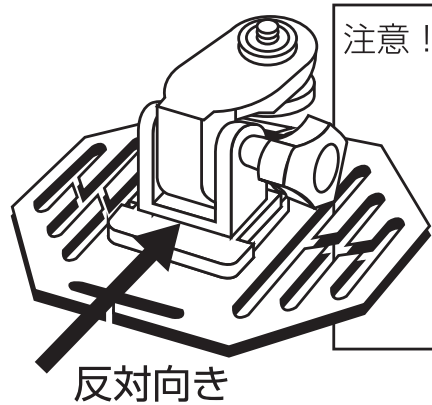

## 連結ユニットの外し方

バックルのツマミをつまみながらユニットを押しだすと外れます。
※少し力が必要です




## 連結ユニット取付け方法

取付けの際は、レールにバックルを差し込んで奥まで押しこむと、取付ける事ができます。反対向きに取付ける事もできます。



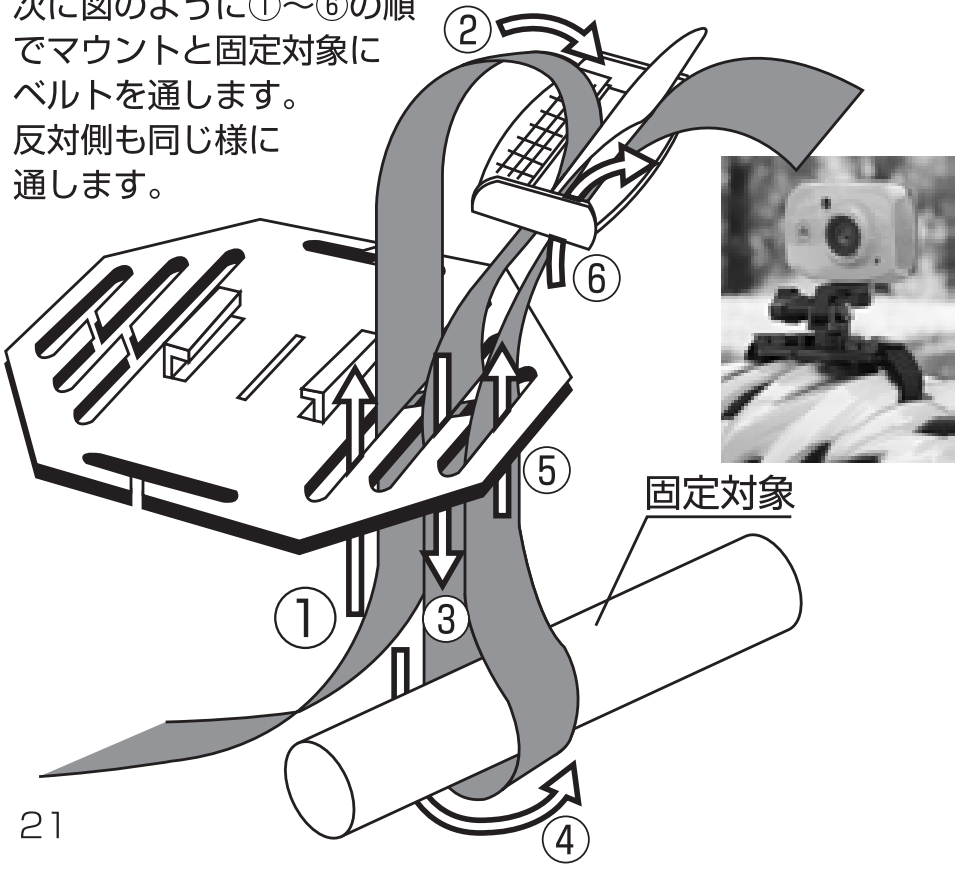

注意！ユニットの取付けは必ずバックルを奥まで差し込み、カチッ！という音と共に確実に固定されている事を確認後にご使用ください。落下の原因になります。

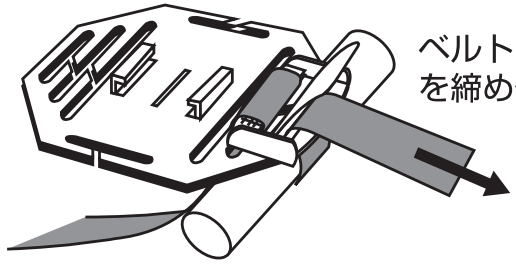
# ヘルメットマウントの使い方

## 自転車用ヘルメットに取付ける

まずはじめに、ベルトとスナップロックを分離してください。

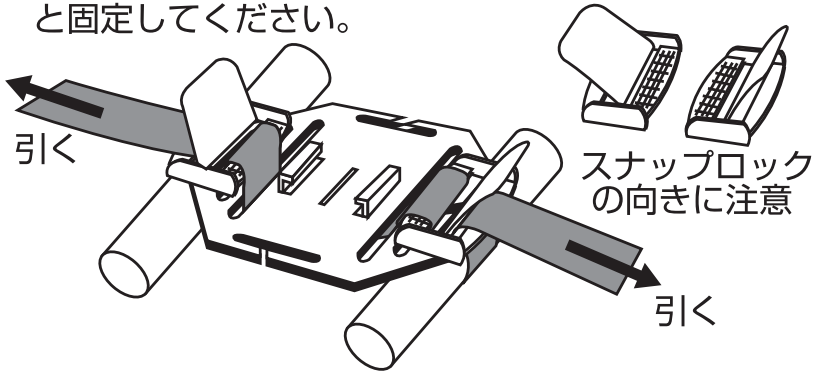
次に図のように①～⑥の順でマウントと固定対象にベルトを通します。
反対側も同じ様に通します。



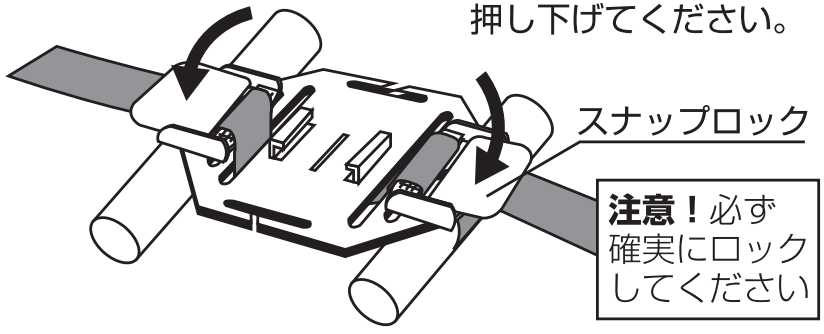



ベルトを引き、固定対象を締め付けます。

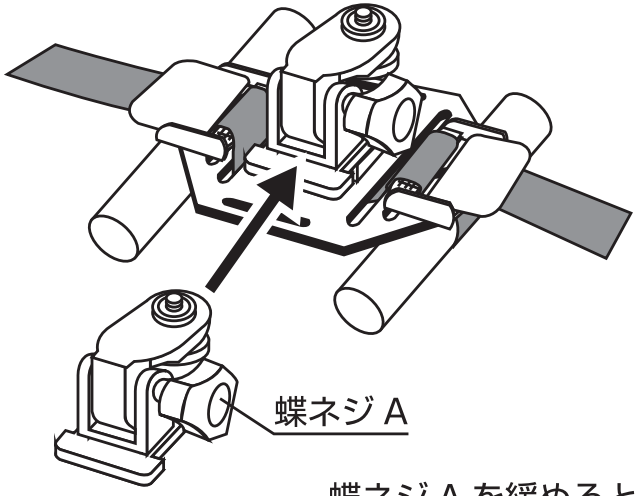
反対側も同じ様にベルトを通し、両方のベルトを同時に引いて、固定対象に緩みがないようしっかりと固定してください。

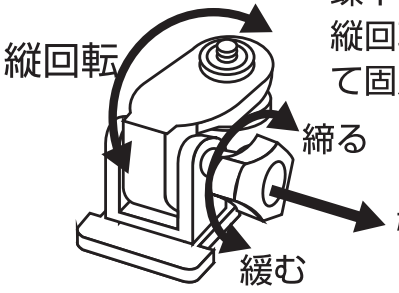



両方のスナップロックを押し下げ確実にロックしてください。必ずベルトを締めながら奥までしっかり押し下げてください。



連結ユニットをヘルメットマウントの
レールに沿って取付けてください。



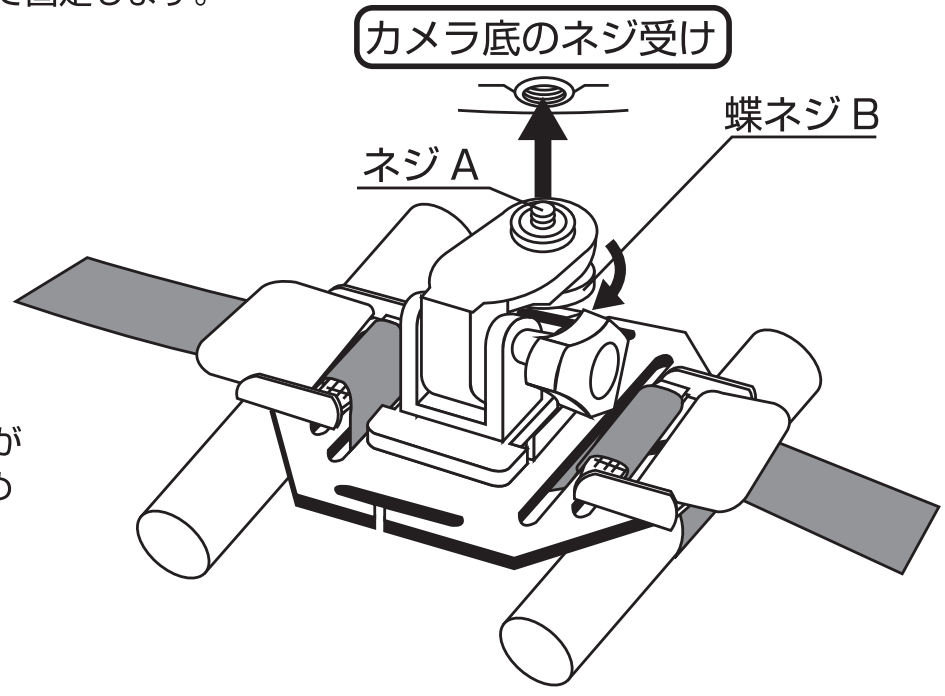




蝶ネジ A を緩めるとジョイント部が
縦回転します。回転後は確実に締め
て固定してください。

**注意！**蝶ネジ A が空回りする際は、ネジ
のつまみとボルトが一緒に回るよう少し
つまみを引きながら回しください。
**注意！**ナットが外れる場合があるので
紛失にご注意ください。

## カメラをヘルメットマウントにセットする

ネジ A をカメラ底のネジ受けに**押し当てながら**蝶ネジ B を回転
させて固定します。



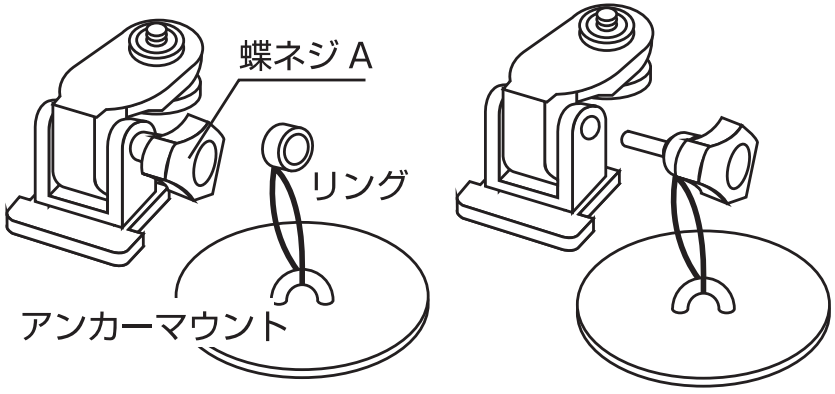

**注意！**ヘルメットマウントは、自転車用の穴開きヘルメットに対応
しています。その他のヘルメットは、確実にベルト固定できるもの
のみ使用可能です。固定できないものは使用しないでください。
**注意！**ヘルメット形状によっては取り付け不可の場合があります。
**注意！**必ず「蝶ネジ A・B」「ネジ A」「固定ベルト」が確実に締ま
って固定されている事を確認してからご使用ください。

# サーフボードマウントの使い方

サーフボード・スノーボードに取付ける

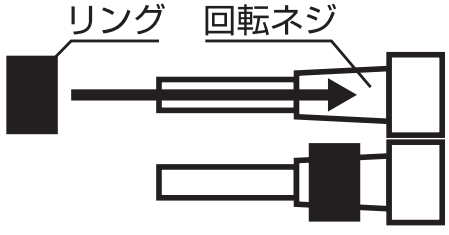
## サーフボードマウントの取付け方

①連結ユニットにアンカーマウントを取り付けます。



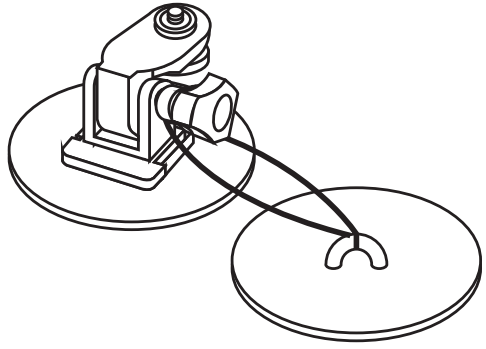

②蝶ネジ A を一旦取り外しアンカーマウントのリングを蝶ネジ A の奥にしっかりと押しこんで、再度連結ユニットに固定します。

※ナットの紛失に注意




注意！蝶ネジ A が空回りする際はネジの持ち手とボルトが一緒に回るよう少しつまみを引きながら回してください。

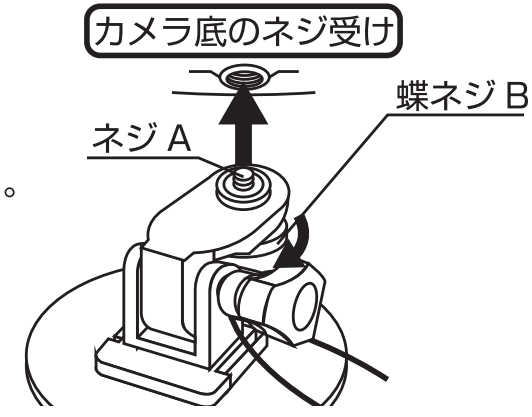
③ユニットをサーフボードマウントに取り付け、両マウントの裏側に円形の３M スティッカーを貼り付けます。（既に貼られている場合もあります） スティッカーの表面紙を剥がし、各種ボードの取り付け面に貼り付けます。



**注意！**必ず接着面に油分、汚れ、埃などが無い平面な場所に取り付けてください。
**注意！**必ず常温の室内で行い、しっかりと押しつけて最低でも 24 時間経過してから使用してください。接着性が損なわれ落下する恐れがあります。

## カメラをマウントにセットする

ネジ A をカメラ底のネジ受けに**押し当てながら**蝶ネジ B を回転させて固定します。



# 故障かな？と思ったら —— 及び ⚠使用上の注意

| 症状 | 確認ポイント | 解決方法　及び　⚠使用上の注意 |
|---|---|---|
| ボタンを押しても反応しない・操作ができない（フリーズ）<br>・誤表示状態になる<br>・電源が OFF になる | フリーズ・誤表示は操作状況によって発生しますが、メディアに原因がある場合もあります。<br>次の事を試してください。 | ①メディアの使いまわしをしていませんか？<br>新品メディアを使い、本品専用で使用してください。<br>②メディアの Class は何を使用していますか？<br>Class４～ 10 を使用してください。Class4 及び６を使用している場合は、10 を試してください。<br>③環境温度が－10 ～ 40℃の範囲外ではないですか？<br>カメラ周囲の温度が－10 ～ 40℃で使用してください。 |
| フリーズ状態（反応しない・操作ができない状態）から復帰の仕方が分らない | リセット操作をしてみましたか？ | 本体のリセットホール（「各部位の名称」参照）にクリップのワイヤーのような細い棒（尖ったものは禁止）を差し込んで奥のボタンを押してください。<br>フリーズが解除され電源 OFF 状態になります。 |
| 動画が再生できない | MOV 形式データが再生できる環境ですか？ | パソコンの再生ソフトによって、またスマホやタブレットによっては MOV が再生できないことがあります。<br>その場合は、一般的なファイル形式変換ソフトなどを使ってファイル形式を対応可能形式に変換してから再生してください。スマホやタブレット等アプリが使えるものは、一般的な MOV 再生アプリで再生してください。 |
| カメラの電源が直ぐに OFF になる | カメラは充電されていますか？ | 電池残量が無いかもしれません。充電を行ってください。 |
| 動画がスムーズに再生されない。<br>音と映像がずれる。 | カメラ以外に原因があるかもしれません。次の事を試してください。 | 1. 処理速度の速い PC を使用する。<br>2. PC のハードディスクにコピーしてから再生する。<br>3. microSDHC カードの CLASS10 を使って撮影する。 |

**別売アタッチメントについて**

お求めの際は、ジョイントタイプが「スクリューAタイプ」のものをお求めください
※販売を終了している場合もあります

# ⚠ 使用上の注意

**注意！取扱説明書内各所に記載されている「注意！」表記は必ずお読みください。**
**注意！「故障かな？と思ったら」の記載も必ずお読みください。**

注意！電波や磁気が発生する場所（電波塔、高圧線付近など）や電磁波が発生するもの（テレビ、電子レンジ、スピーカー、ゲーム機）の側で使用すると画像や音声が乱れたりデータが失われる可能性があります。

注意！電源を OFF にしても微少電流は流れています。そのまま長期間経過すると過放電状態になり充電しても使用できなくなりますので、必ず半年に一度は本機に充電をしてください。

注意！カメラのレンズ部分は絶対に触らないでください。ゴミなどが付着し傷の原因となります。また、ポケットに入れたりカバンに押し込むことや他の物と一緒に収納することもレンズの傷に繋がるのでおやめ下さい。

注意！レンズ周りの埃や水滴を布で拭くと、傷の原因となるため必ず吹きとばしたり振り落とすようにしてください。

注意！湿度差や温度差が大きいと、レンズの曇りや汚れ、カビ、故障の原因となるのでご注意ください

注意！冷暗所に保管し、高温多湿の場所や埃は避けてください。使用前は正常に作動するか必ず確認してください。

注意！レンズが曇った場合は、電源 OFF の状態で 2 時間ほどそのままにしてください。自然と曇りが取れます。

注意！カメラに対する振動や衝撃、浸水、また誤った使用によりカメラやメディア（メモリーカード）の破損やデータの消失が起こることがあるので、使用前には必ずデータのバックアップ（パソコンなどに保存）を行ってください。

注意！各種アタッチメントを取り付ける際は確実に取り付けてください。落下の原因になります。また、必ず確実な固定を確認してからご使用ください。

注意！吸盤型及び接着型マウントは必ず取付け面に油分、汚れ、埃などが無い平面な場所に取り付けてください。
また、シールの取り付けは必ず常温の室内で行い、最低でも 24 時間経過してから使用してください。
接着性が損なわれ落下する恐れがあります。

注意！気圧の変化などにより、ハウジングが開きにくくなる場合があります。ご了承ください。

注意！特殊な環境で使用される製品の特性上、水没に対する保証は行っておりません。水没の原因特定が難しいためです。また、カメラの落下が原因となる破損に対する保証も行っておりません。固定状況の確認が事実上行えないためです。予めご了承ください。

注意！法律で禁じられている場合を除き、本品の故障や破損が原因となり発生したカメラ以外の関連パーツの破損、またその他の二次被害や直接的及び間接的被害、撮影に要した費用や撮影によって得られたであろう利益の損失、データの破損やそれによる損失なども補償いたしかねます。ご了承ください。

注意！アタッチメントを取付ける際は、ネジが斜めになっていないか確認しながら回転させて取り付けてください。
無理に回転させると破損する恐れがあるのでご注意ください。

注意！ディスプレイの液晶モニターはデリケートです。落としたり衝撃や力を加えると液晶が破損します。ご注意ください。

注意！使用するメディアの種類やパソコン・スマホ・タブレットの種類、テレビの機種や車種、また操作の組み合わせや手順によって、エラーやフリーズが発生する場合があります。ご了承ください。フリーズからの復帰はリセットホールにクリップなどの細い棒を入れて（先が尖ったものは不可）奥のボタンを押す事で復帰します。

注意！アタッチメントは衝撃により破損する事があります。段差を乗り越える際の衝撃やジャンプの着地等の衝撃は破損の原因となりますので、ご注意ください。

Windows 及び Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Mac,Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc, の商標です。